

香南市の取り組みや事業を紹介 するコーナーです

4.16(金) 人権啓発に桃太郎旗寄贈!

5.17(月) 八重瀬町へ表敬訪問

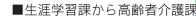
香美人権擁護委員協議会より、人権啓発の一環 として役立てるための桃太郎旗6本が市に寄贈さ れました。「育てよう 人権意識」「広げよう 人権 の輪」と大きく書かれた人権啓発桃太郎旗を今後 の人権啓発に活用してまいります。



5.1(土) 香南市人事

人事異動

■平成22年5月1日付



■主事 東 信孝



人権課 25 57-8507

総務課 🖾 57-8500

2期目の就任となった仙頭 義寛市長らが沖縄県の姉妹都市・ 八重瀬町へ表敬訪問しました。

八重瀬町では今年2月の町 長選挙により、新しく比屋根方 次町長が就任。新体制となった 三役らと改めて今後の交流に ついて話し合いました。

総務課 🖾 57-8500

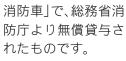
5.23(日) 消防自動車が配備されました

新しい消防車が香我美消防団第1分団(岸本)、 第2分団(西川)に配備されました。

なかでも第1分団(岸本)に配備された消防車は、 災害時の救助・救命用の機材を備えた「多機能型

氏名お





消防本部 25 55-4141

香南市ふるさと応援寄附金

総務課 🛎 57-8500

る 21

■事業別寄附金額

事業名	寄附金額(円)
自然環境の保全、景観の維持及び再生に関する事業	0
省資源及び省エネルギー化の推進に関する事業	0
健康増進及び福祉の向上に関する事業	50, 000
産業の振興及び観光地づくりの充実に関する事業	1, 000, 000
教育、文化及びスポーツ活動の充実に関する事業	705, 000
市民によるまちづくり活動の推進に関する事業	0
市政一般	63, 000
슴 計	1, 818, 000

21年度にいただいた寄附金は、「香南市ふるさと応援基 金」に積み立て、22年度以降、寄附者の意向に沿う事業の 財源として順次活用し、使途についても公表します。

■香南市ふるさと応援基金積立状況 平成21年度末現在の積立額

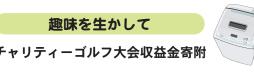
2,863,000円

ち、承諾が得られている方

15名様 大阪府大阪市

附 $\overline{\mathcal{O}}$ 状 寄 況せ をおれ 知た

チャリティーゴルフ大会収益金寄附



まちの話題 S CODICS



※次回のゴルフ大会は、6月17日(木)に開催されます

4月19日(月)市商工会が市内の社会福祉施設「香南 くろしお園」「あけぼの共同作業所」「愛童園」へ、香南 市民ゴルフ大会の収益金から洗濯機や調理器具、自転 車を贈りました。ゴルフ大会は4年前から年2回開催 し、収益金を市内の福祉施設などに寄附しています。

今回は、昨年10月に開催した収益金をもとに各施設 が希望するものを贈呈。畠中会長は「今後もゴルフを 通じて市民の交流や親睦を深め、得られた収益金で地 域福祉に貢献していきたい」と話されました。

あじさいを楽しみ隊

花フェスタ再び大にぎわい

チューリップ球根掘り取り祭

ところ、フェスタ終了後の4月25日(日)に約3千人が

「独居老人の方に配ります」と、コンテナへ山盛りに

球根を詰め込むのは、四万十町の福祉ボランティアグ

ループ。球根は1時間余りで掘り尽くされ、来場者は

持ちきれないほどの「収穫|を抱えてホクホク顔でした。

詰めかけ、会場は再び大にぎわいでした。

8万本のチューリップが咲き誇り、期間中1万3千 人が来場した人気の「かがみ花フェスタ」。咲き終わっ た球根を自由に持って帰ってもらおうと呼びかけた

あじさい街道ボランティア草刈り

5月15日(土)野市町父養寺と西佐古にまたがるあ じさい街道で「のいちあじさい街道を守る会」の呼び かけにより、地域住民やまちづくり団体などから約40 人のボランティアの方々が参加し、草刈り作業に汗を 流しました。今年は雨が多かったせいか雑草も多く大 変でしたが、毎年あじさいがきれいに咲き続けるため には、大切な作業です。守る会では「今後も活動を継続 させていきたい。たくさんの人の協力で雑草が除去さ れ、ほんとにありがたい|と感謝していました。



※例年同様6月上旬から見ごろとなりそうです

いろんな訓練しています

第50普通科連隊らっぱ競技会と野外炊事練度判定



5月10日(月)香我美町上分の陸上自衛隊高知駐屯 地で、第50普通科連隊が近隣住民約70人を招いて、らっ ぱ競技会と野外炊事を行い、日ごろの訓練の成果を披 露しました。見学と試食に訪れた住民は「上手に料理 する人もおるし、手元がちょっとおぼつかん人もおる。 筑前煮や酢の物は家庭の味で、隊員さんらをすごく身 近に感じた」「災害で電気やガスが止まっても、この部 隊の人らぁが近くにおる、と思うたら心強いねぇ」と 話していました。